

長崎港松が枝地区国際観光船埠頭の概要について

- まちなかに近く、周辺には世界遺産など観光資源に恵まれている長崎港は、2019年に183隻のクルーズ船が入港、約55万人の乗客が訪れるなど、多くのにぎわいを創出しています。
- 今後の増加が見込まれるクルーズ船に対応するため、令和2年度に松が枝岸壁の2バース化が新規事業として採択されました。
- 延伸する岸壁とターミナル機能等とあわせて、背後のまちなみと調和した都市空間の形成、交通結節機能等を検討し、“みなとづくり”と“まちづくり”を一体的に進めます。

【長崎港の特徴】



【2019年に長崎港入港したクルーズ船(一例)】



【松が枝岸壁2バースの整備】



＜新たな産業の創出＞



【クルーズ船の寄港状況】

